

平成 2 5 年 第 2 回 教 育 委 員 会 会 議 録

招 集 年 月 日	平成 2 5 年 2 月 6 日
招 集 場 所	役場 第 3 会 議 室
開 会	1 1 時 0 0 分 委 員 長 宣 告
出 席 委 員	立 脇 教 育 委 員 長 井 上 教 育 委 員 福 田 教 育 委 員 川 上 教 育 委 員 内 田 教 育 長
欠 席 委 員	
教 育 長 の 報 告	別紙資料による ○報告事項 ・鳥取県日野地区連携協議会について ・日野高校について

議 事 日 程		
議 事 の 経 過		
日 程 そ の 他	発 言 者	発 言 の 要 旨
鳥取県日野地区 連携協議会・日野 高校についての 報告	教 育 長	<p>鳥取県日野地区連携協議会というのは、鳥取県知事と日野郡3町の町長で構成される協議会である。具体的には、発達障害の事についての取り組、道路の維持管理、除雪体制、監査委員制度の統合について議論している。道路の維持管理については、県道と町村道の維持について、県からそれぞれの町村の委託を受けて一括管理をしていくというような、試行的な取り組みをしている。監査委員制度については、現場からの抵抗があり全く進んでいない状況であると聞いている。その上において、知事の方から日野郡3町の教育の在り方について、重点事項として検討しようというような提案があった。取り組みの基本的視点という事で、5点ほど挙げている。1点目、日野郡の現状を踏まえ、保育所から高校までの教育の流れの中で、過疎地域教育の在り方を考える。2点目、日野高校の在り方を考える。3点目、日野郡の教育の現状や課題に関する住民の理解を深め、教育に対する住民の関心を高める。4点目、活力ある日野郡の教育や、効率的な教育行政の推進のため、日野郡3町の教育委員会の共同設置を考える。5点目、国の動向教育改革を視野に入れる。取り組み内容として、郡内教育の現状の課題・整理、国の動向を見ながら、先進地の視察とシンポジウムを開催して、今後の郡内の教育の在り方の検討を行って、基本計画を作成する方向でやっていく。具体的には25年度の予算として、日野高校についてのアドバイザーを配置する予算が今の段階で上程される。日野町を会場にして、日野高校に関するシンポジウムを開催する予算がついている。県の予算については、25年の1年しか付けず、1年が終わった段階でその成果を検証して、方向性を出していく。日野高校の在り方を考える会では、これ以上の進展はないので、法定協議会で日野高校の在り方について議論していく。どのような方向性が見えてくるかは不透明である。鳥取県教育委員会が、昨年10月に平成25年から30年度における高等学校の在り方をまとめた。内容としては県内の高等学校において、25年から30年の間では学校数を減らさない。しかし、学級数を8つ減らす。具体的な8つの内訳としては、東部4学級、中部2学級、西部2学級となっている。先日の県の教育委員会で、8つの内の3つを26年の4月に実施することが承認された。あとの5つについては、27年から30年のうちに実施すると決まった。31年度以降の高等学校の在り方については、3月に教育審議会の方に諮問をする。26年の4月に西部地区で減らされる1学級は日野高校で、3学級を2学級に減らすこととなった。県教委としては、1クラスの減についてあまり影響はないと考えている。</p>

	委員 長	説明があったが、意見はあるか。
	委員	日野高校への入学希望者はどのくらいか。
	教育 長	日南町は7から8名、日野町が8名から10名で25年度入学者は日野町の入学者が多くなっている。江府町は1名いるかないかが現状である。
協議	委員 長	取り組みの基本視点で挙げている4点目について、これが知事の狙いではないかを感じる。
	教育 長	知事としてそのような視点を持っている事は間違いない。国の教育再生の動きが非常に速い状況の中で、この動きをきっちり捉えていかないと、鳥取県の教育委員会も鳥取県も方向を間違える恐れがある。鳥取県日野地区連携協議会として、何らかの結果を出したいという思いが先に来ていると感じる。日野郡の高齢化や人口の流失は教育が要因ではなくて、地域の活力というか雇用や就業或は地域経済といったものが、起因すると考える。受け皿がしっかりしていなければ、地域に根差す人材も育たない。この問題は教育行政の話ではなくて、一般行政の手腕に関わる問題でもあると思う。人材育成確保をどのように推進しい行くかを考えるときに、教育の在り方に絞った議論では結論も結果も出ないと思う。
	委員 長	国の政策の動きを受けてこのような動きがなされていると感じるがどうか。
	教育 長	教育再生実行会議の内容と、県が行っている教育振興協約は項目が、重複している部分が多い。現場が混乱させられるのではないかと危惧している。地方教育行政法を改正するとしているが、その案が通った場合教育委員会は諮問機関になることもあり得る。教育行政の独立性などの話ではなくなる。国の流れをきっちり捉えて話をしなければならぬ。
	委員	日野高校についてカリキュラムの手直しをしたところで、入学者が増えるとは思わない。学級を減らすことに関してはやむを得ないと考える。ここ数年いろんな問題が起きているが、その原因は教育委員会制度に問題があるといわれても仕方のないことだと思っている。高校の問題も先生の努力不足だと言われてきたが、その限度を超えていると思っている。
	委員	日野高校については前委員と同じ考えである。教育委員会制度については、教育長へ権限を持たせる事に賛成である。ただ教育委員会を諮問機関にすれば、形骸化がますます進んでしまい教育長の暴走が起こるのではないかと感じている。この教育委員会をどこに位置付けるかが今後の課題だと感じる。
	委員 長	教育委員会制度について前委員と同じ考えである。教育委員会や教育長が、首長の意のままに動かされるのではないかとこの事を一番心配している。政治的中立、或は独立性は保たなければならない。

	<p>教 育 長</p> <p>委 員</p>	<p>政府の教育再生の流れを勉強して、どのような手立てを打つかだ。教育委員も連合会も政府の政策について学ぶ必要がある。学校教育の中で重大な問題が起きたときにどう対応するかは、日頃から全体を見渡すことのできる広い視野を持った人材が、どのくらい居るかが重要となると考える。そのような訓練なり仕組みがきちんと出来ていれば、重大な話にはならない。</p> <p>指導力のない教員、問題を抱え込み一人で解決しようとする教員、そういう雰囲気を作っている学校の体制この3つが重なった時に、大きな問題となってくる。多くの目で見て問題を抱え込んだりせずに、大っぴらにしてみんなで対応していかなければ解決しないと考える。</p>
<p>連絡事項</p>	<p>教 育 長</p>	<p>25年度予算について町長査定が終わったところである。社会教育の助成については満額、人については1人でいくことになった。もう少し考え方を詰める必要があるが、1人でも凄い前進であると思っている。自民党が言っている6334制の見直しの柔軟化、5歳児の義務教育化となった時に、カリキュラムをどうするのが非常に重要である。日南町として、どういう事を教えれば良いのかを、独自で検討しようと思っている。鳥取県の教育委員会委託事業と連携して、パソコンをタブレット化する事を予定している。25年度は新しい動きをやってみようと考えている。</p>